

令和2年度

事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	01	104330	生涯学習講座開催事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進		
	施策	01	自主的学習の推進				
目的	生涯学習講座の開催によるひとづくり						
対象	市民及び市内在勤者						
意図	市民の課題解決のきっかけづくりなど生涯学習の場や機会を提供する						
事業概要	富士大セミナー、岩大講座 14千円 まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・石鳥谷・東和の各総合支所での生涯学習講座の開設 高齢者学級... 1,805千円 女性学級... 134千円 市民講座... 762千円 石鳥谷地域支援事業 37千円 27コミュニティで実施する生涯学習事業を支援 研修実施、人材育成等... 332千円 家庭教育支援講座 49千円 共通経費... 17,935千円						
市民参加の有無	無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	講座開催数	回	計画	337.00	355.00		
			実績	307.00	215.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	受講者アンケートによる、もっと学びたいと思う人の割合	%	目標	90.00	90.00		
			実績	92.00	95.95		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
【成果指標の指定根拠】 ・学習機会の提供・きっかけづくりにより、成果として市民の生涯学習活動への意欲の醸成の達成度を測る指標として設定したものであるが、コロナ渦で制限の多い中少ない実施回数であったが、内容が充実した講座等を開催できたことにより、受講者アンケート項目の「もっと学びたい」「学びたい」と思う人が、目標値の90%に対し95.95%となっており達成した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市民のライフスタイルや生活課題が多種多様化している中で、課題解決のためのきっかけづくりなど学習機会を提供し、市民の生涯学習への取り組みを支えることはひとづくりにつながり妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・生涯学習機会を提供することにより、趣味や生きがいのため学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心や連帯感の向上が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・事業費は講座数の削減により、これ以上削減余地はない ・職員が関わるのは、コーディネート、講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である。 ・講座開催の最低限の経費となる講師の謝礼経費については公費負担としているため適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	学習機会として提供している各種講座をつうじて、生涯学習のきっかけづくりや、自主学習への関心は高まったと考える。
	次年度に向けて	学習者の主体的な学習支援と学びの循環が継続できる学習機会の提供を行っていくとともに、地域での主体的・自主的な生涯学習活動を支援していくことが重要と考える。

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	01	104340	生涯学習活動支援事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進
	施策	01	自主的学習の推進		
目的	自主的な生涯学習の取り組み支援				
対象	市民及び市民団体				
意図	生涯にわたっていつでもどこでも学べる環境を提供する				
事業概要	ふれあい出前講座 996千円 生涯学習講師、公共機関職員等の派遣 生涯学習フェア開催 0千円 まなび学園祭(中止) まなびキャンパスカード 114千円 児童・生徒の文化施設等利用に係る減免 学習資源検索システム 166千円 生涯学習情報をホームページで提供 はなまきまなびポイント 8千円 生涯学習講座等の参加記録事業 共通事業 4,440千円				
市民参加の有無	無				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成
活動指標		単位	区分	H31	R02
1	生涯学習団体登録数	団体	計画	190.00	150.00
			実績	127.00	127.00
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	H31	R02
1	生涯学習講師新規登録者数	人	目標	14.00	14.00
			実績	14.00	4.00
2	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標	90.00	90.00
			実績	92.00	95.95
3	まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合	%	目標	70.00	60.00
			実績	45.08	
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	
				目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)	
【成果指標の指定根拠】 まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合 ・令和2年度は、コロナウイルス感染症の影響を考慮し、まなび学園祭を中止したことから実績値なし。	
目的妥当性	公共関与の妥当性
	妥当である
	見直し余地がある
有効性	成果の向上余地
	向上余地がある
	向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地
	事業費の削減余地がある
	人件費の削減余地がある
公平性	受益と負担の適正化余地
	受益機会の見直し余地がある
	費用負担の見直し余地がある
総合評価	今年度の振り返り
	次年度に向けて

生涯にわたっての学び、心豊かな生活を送るため、市民の生涯学習への取り組みを支援することは妥当である

生涯学習活動への支援により、趣味や生きがいのための学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心等も深まり、学習に取り組む市民が増えていくことが期待できる

事業費は講師の派遣経費や学習資源の検索システムのランニングコスト等であることから削減余地はない。
職員が関わるのは、内容の企画立案・実績集約・講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない

受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である

令和2年度は、コロナウイルス感染症の影響により、各施設の利用が制限され、生涯学習事業の開催が遅れたり困難となるなど、厳しい環境下での事業実施であり達成度が下回るなど影響している。

本事業は、市民が主体的に学ぶために必要な、講師等の学習資源の紹介や、市の生涯学習拠点施設における学習成果の発表の場・生涯学習のきっかけづくりを活動として盛り込んでおり、今後とも主体的、自主的に学ぶ意欲の醸成に努めていきたい。

令和2年度

事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	10	05	01	104390	視聴覚教育推進事業費			
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進			
	施策	01	自主的学習の推進					
目的	生涯学習の取り組み支援							
対象	市民、市内に勤務先を有する者							
意図	生涯にわたって学ぶ習慣を身につけることができる							
事業概要	視聴覚教育事業 2,975千円 視聴覚資料・教材の貸出（学校、振興センター、自治公民館等） 16ミリ映写機操作技術講習会 1回 16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台） 図書館こども映画会（7月～10月、月1回） 夏・冬・春休みこども映画会（冬・春中止） こども読書週間時映画会 中止 読書週間時映画会 1回 休日ほっと映画会（7月～10月、月1回） パリアフリー映画会（聴覚障がい者等）中止 視聴覚ビデオデジタル変換DVD化							
市民参加の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03	
1	視聴覚資料の利用本数			本	計画	400.00	420.00	
					実績	312.00	158.00	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03	
1	視聴覚資料を活用した観覧者数			人	目標	7,500.00	7,600.00	
					実績	6,988.00	3,496.00	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントの開催が7月から11月中旬までであったことや、人数制限を行いながら開催したため、利用本数や観覧者数は昨年度より大きく減少したが、視聴覚教育ライブラリーの情報提供を促進し、各種団体への周知活動等を行ったこと等により、開催期間は一定の利用があった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	社会教育法第5条第1項17号に規定されている市町村教育委員会の事務である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	子ども向けの映画会については、児童が視聴できる開催時間、開催日を検討する。また、多くの市民に視聴覚教育ライブラリーの活用を促すため、図書館ホームページや振興センターを通じて情報提供を積極的に行うことで視聴覚資料の利用拡大を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業の7割が人件費で、事業費の削減余地はない。会計年度任用職員1名で月2回の映画会及び春・夏・冬読書週間の映画会に対応している。他にも他市町村や市内の関係団体等への視聴覚資料の貸し出しや16ミリ映写機講習会、カウンター業務及びレファレンス業務もっており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内生涯学習団体等に資料等の提供を行っており、受益者への偏りはない。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	視聴覚教育事業の周知については引き続き図書館ホームページでの視聴覚教育ライブラリー情報の提供及び郷土資料収集やビデオデータのDVD化を行うなど、視聴覚資料や目録の充実、各種団体への周知方法を強化し、自主的な生涯学習のアイテムとして積極的に社会教育機関等の利用促進を図った。
	次年度に向けて	視聴覚教育事業の周知については引き続き図書館ホームページでの視聴覚教育ライブラリー情報の提供及び郷土資料収集を行うなど、視聴覚資料や目録の充実、各種団体への周知方法を強化し、今後も自主的な生涯学習のアイテムとして積極的に社会教育機関等の利用促進を図る。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	01	104450	生涯学習施設整備事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進	
	施策	01	自主的学習の推進			
目的	生涯学習施設（生涯学園都市会館）の維持保全に係る大規模改修					
対象	市民の課題解決のきっかけづくりなどを生涯学習の場や機会を提供する					
意図	生涯学習拠点施設として長寿命化することにより、施設を有効活用し利用者の利便性を図る					
事業概要	<p>生涯学園都市会館（まなび学園）整備 62,205千円 ・大規模改修工事 監理業務、外壁工事、工事管理費 石鳥谷生涯学習会館整備 30,474千円 ・受変電設備及び屋内消火栓用非常用発電機等更新工事 設計業務、監理業務、工事請負費 生涯学習施設耐震補強 8,992千円 ・花巻市好地会館耐震補強工事実施設計、同監理業務、同工事 ・石鳥谷高齢者創作館耐震補強工事実施設計、同監理業務、同工事</p> <p>市民の家活用調査業務（繰越明許） 1,672千円</p>					
市民参加の有無	無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	生涯学園都市会館外壁修繕	件	計画	2.00	1.00	
			実績	2.00	1.00	
2	石鳥谷生涯学習会館受変電設備及び屋内消火栓用非常用発電機等更新	件	計画		1.00	
			実績		1.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
工事の実施が目的の業務であることから、成果指標の設定はなじまない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・生涯学習施設は誰もが利用できる身近な公共施設であり、市民の生涯学習を支援する上でも、施設の改修は妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・施設改修により、安全性と快適性を高めることにより、利用者の利便性を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・令和2年度は、工事及び業務委託のみの事業であり必要限の費用であり削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・施設の利用者は全市民であり、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	<p>生涯学園都市会館整備 完了 ・大規模改修工事 監理業務、外壁工事、工事管理 石鳥谷生涯学習会館整備 完了 ・受変電設備及び屋内消火栓用非常用発電機等更新工事、設計業務、監理業務</p>
	次年度に向けて	<p>生涯学園都市会館整備 ・大規模改修工事 電気設備、昇降機設備、工事管理、監理業務 石鳥谷生涯学習会館整備 ・講堂棟・本館3階トイレ改修工事、設計業務、監理業務 ・講堂空調設備改修工事設計業務、アスベスト調査</p>

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	03	104460	読書活動推進事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進		
	施策	01	自主的学習の推進				
目的	読書活動の推進						
対象	乳幼児～高校生、一般						
意図	乳幼児親子への絵本配布や読み聞かせ指導や、乳幼児～小学生を対象とした「おはなし会」等の開催で親子のふれあいと読書への関心を高め、読書活動に関心のある市民を対象としたスキルアップ講座を行うことにより、更なる読書活動の推進を図る。						
事業概要	ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ事業 1,582千円 読み聞かせ事業 4,793千円 図書館司書の配置及び乳幼児親子や小学生を対象とした読み聞かせを定期的実施。 花巻市みんなでライブラリー事業 178千円 読書習慣の定着化や図書館の活用方法の周知、本と親しむ喜びなどを体得するため事業を開催。 花巻市読書活動推進スキルアップ講座 88千円 読書おもいで帳の発行 22千円 読書への関心を高め図書館の利用促進を図るため、市内の乳幼児から中学生を対象に読書おもいで帳を発行。 第三次花巻市子ども読書活動推進計画の検証 0円						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ実施回数	回	計画	125.00	125.00		
			実績	115.00	101.00		
2	読み聞かせ実施回数	回	計画	150.00	150.00		
			実績	130.00	42.00		
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	18歳以下の人口に対する1人当たり貸出冊数	冊	目標	7.90	8.50		
			実績	6.90	6.50		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
若年層の読書率を伸ばすことを目指し、令和2年度から成果指標を変更した。新型コロナウイルス感染症対策として臨時休館や時間短縮開館などを実施したため、利用者、貸出冊数ともに昨年度より減少したが、ブックスタート事業などで対象年齢に合った絵本の選書等に努めていることや、1回の貸出冊数を増やしたことにより、多くの親子に本を渡す機会が得られ、読書推進を行うことができている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	子どもの読書活動の推進に関する法律及び第三次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、市が読書活動の環境の整備を推進するものである。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	5か月児と1歳6か月を対象とするブックスタート事業にフォローアップを加え、参加率の向上を図っている。また、事業の実施に当たっては、チラシやホームページ等を活用し、周知を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、配布絵本の購入費や会計年度任用職員報酬がほとんどであることから、削減の余地はない。また、人件費はブックスタート等事業を月4回（2時間程度）実施し、読み聞かせは、月3回（1時間程度）実施しており、その他はカウンター業務やレファレンス業務を行っているため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全域の乳幼児等を対象としており、公平・適正に実施されている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年度から実施してきたブックスタートに加え、平成24年度から新たにブックスタートプラスとして1歳6か月児健診時に実施し、参加率の向上が図られた。引き続き2つの事業を実施することにより、早い時期からの読書習慣の定着を図ることができる。 読み聞かせの参加者数の大きな増加は見られないが、引き続き広報誌・えふえむ花巻の図書館インフォメーション等を活用して周知を図り、今後も読み聞かせボランティアの協力を得ながら継続して実施していくことにより、本への関心度をさらに高めることができ、読書習慣が身につくことが期待される。
	次年度に向けて	ブックスタート及びブックスタートプラスの2つの事業を引き続き実施することにより、早い時期からの読書習慣の定着を図る。引き続き、広報、えふえむ花巻の図書館インフォメーション等を活用して周知を図り、コロナ禍の中でも工夫しながら、読み聞かせなどの事業をボランティアの協力を得ながら継続して実施し、本への関心を高めるとともに若年層の読書率を伸ばし、生涯を通じた読書習慣の定着を図る。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	03	104470	図書館整備事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進		
	施策	01	自主的学習の推進				
目的	新花巻図書館の整備						
対象	市民の課題解決のきっかけづくりなど生涯学習の場や機会を提供する						
意図	花巻図書館を新築整備し、生涯にわたり学べる環境を提供する。						
事業概要	図書館アドバイザー謝礼 124千円 としょかんワークショップ等開催時に関する有識者からのアドバイス 先進地視察に係る謝礼 測量調査等業務委託料（繰越明許費） 386千円 新花巻図書館候補地不動産鑑定評価業務						
市民参加の有無	有：計画期間中						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	基本計画アドバイス			回	計画	10.00	
					実績	12.00	
2					計画		
					実績		
3					計画		
					実績		
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1					目標		
					実績		
2					目標		
					実績		
3					目標		
					実績		
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
計画を作成することが目的の事業であることから、成果指標の設定がなじまない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	図書館は誰もが利用できる身近な公共施設であり市民の生涯学習を支援する施設を整備することは妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	機能の充実した利用しやすい生涯学習施設として整備することにより利用者の増加が見込まれるほか、中心市街地の賑わい活性化が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	令和2年度は、基本設計を策定する等、事業を進めるうえで必要な費用であり削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	受益者は、特定の市民ではなく全市民であり、誰もが利用できる施設の整備であることから、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新花巻図書館整備基本計画の策定にむけて、富士大学教授からアドバイスを得ながら、高校生、20代、一般を対象としたワークショップや、市民・各種団体等との意見交換会を開催し、新しい図書館に求められる機能やサービス内容などについてアイデアや意見を聞くことができた。また、市議会議員、社会教育委員、図書館協議会委員に開催結果等の説明を行った。今回得た意見等は計画試案に反映させていくものであること。
	次年度に向けて	新年度においては計画試案を作成しながら、新たに新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を開催し、専門の見地から意見を聴取しながら計画策定を進めていくものであること。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	03	104910	図書館改修事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進		
	施策	01	自主的学習の推進				
目的	生涯学習の推進						
対象	市民、市内に勤務先を有する方						
意図	生涯にわたって学ぶ習慣を身につけることができる。						
事業概要	東和図書館、石鳥谷図書館の改修 36,672千円 東和図書館管理棟(旧情報センター側施設)屋根改修 34,494千円 ・管理棟屋根改修工事実施設計業務委託 2,198千円 ・管理棟屋根改修工事監理業務委託 1,045千円 ・管理棟屋根改修工事費 31,251千円 石鳥谷図書館空調設備更新(R2は実施設計のみ) 2,178千円 ・空調設備更新工事実施設計業務委託 2,178千円						
市民参画の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	改修事業実施件数	件	計画			1.00	
			実績			1.00	
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1			目標				
			実績				
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)		
来館者に安全に施設を利用してもらうための改修工事であり、成果指標設定がなじまないため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市立図書館は市の施設であり、市で改修することが妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	市立図書館の改修を行うことにより、来館者が安全に施設を利用できるほか、満足度が向上し利用者の増加が見込まれ、読書活動等の生涯学習の推進等向上の余地がある。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	効率的な設計を行うことにより、事業費は最小限に抑えられると見込まれる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市立図書館の改修により、利用者が安全、かつ快適に施設を利用することができるため、受益機会と費用負担について公平であると考えられる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	事業計画どおり、東和図書館管理棟の屋根改修工事を適正に実施した。
	次年度に向けて	石鳥谷図書館空調設備更新工事を実施する。